

## 数学オリンピック財団より 21

公益財団法人数学オリンピック財団  
理事長 鈴木晋一

数学オリンピックの本年度の国際大会はすべて終了し、日本代表選手の成績もすべて出揃いましたので、その結果をお知らせいたします。

3月に行われたアジア太平洋数学オリンピック (APMO) と、4月に行われたヨーロッパ女子数学オリンピック (EGMO) の結果は、「数学通信」第21巻第1号でお知らせしましたので、以下はその後の分です。

第57回の国際数学オリンピック (International Mathematical Olympiad : IMO) は、7月6日から16日まで、中国の香港で開催されました。

参加各国の団長団は、選手団よりも一足早く、7月6日に香港入りして大会の準備に努め、9日には選手団が次々に到着、翌10日に開会式が行われました。コンテストは、続いて11日、12日に行われました。

IMOでの成績は以下の通りです。

高谷 悠太	開成高等学校	2年	金メダル
青木 孔	筑波大学附属駒場高等学校	3年	銀メダル
藏田 力丸	灘高等学校	3年	銀メダル
松島 康	東京都立武蔵高等学校	2年	銀メダル
村上 聡梧	筑波大学附属駒場高等学校	3年	銀メダル
井上 卓哉	開成高等学校	3年	銅メダル

参加国・地域は109で、参加選手は602名（男子531名、女子71名）で初めて600名を超えました。金メダル44名、銀メダル101名、銅メダル135名でした。

国別順位は、次の通りです。

1. アメリカ
2. 韓国
3. 中国
4. シンガポール
5. 台湾
6. 北朝鮮
7. ロシア・イギリス
9. 香港
10. 日本

以上